

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

【表1】令和元年度補正予算(2月) (単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第3回)	110,445,060	2,674,347	113,119,407
国民健康保険特別会計(第2回)	19,891,801	△ 586,305	19,305,496
介護保険特別会計(第2回)	16,173,225	△ 232,025	15,941,200
後期高齢者医療特別会計(第2回)	5,236,912	84,204	5,321,116
合計	151,746,998	1,940,221	153,687,219

【表2】令和2年度当初予算 (単位:千円)

会計別	予算総額
一般会計	111,270,000
国民健康保険特別会計	18,931,000
介護保険特別会計	16,161,000
後期高齢者医療特別会計	5,325,000
合計	151,687,000

令和2年度の補正予算は、一般会計が113億119万4千円、国民健康保険特別会計が1億930万5千円、介護保険特別会計が1億594万2千円、後期高齢者医療特別会計が532万1千116円、合計153億687万2千119円です。

令和2年度の当初予算は、一般会計が111億270万円、国民健康保険特別会計が1億893万1千円、介護保険特別会計が1億616万1千円、後期高齢者医療特別会計が532万5千円、合計151億687万円です。

2月定例会では、一般会計などの4会計総額1千516億円余の予算が成立したのを始め、条例改正、補正予算など区長提出の合計31議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

令和2年度予算決まる

今定例会では、予算審査特別委員会を設置し、令和2年度当初予算の審議を行い、一般会計などの4会計総額1千516億円余の予算が成立したのを始め、条例改正、補正予算など区長提出の合計31議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

2月定例会

2月20日(3月5日)の特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件

- 令和元年度文京区一般会計補正予算
- 私立保育園の運営補助に要する経費、公園再整備に要する経費、シビックセンター非常用発電設備増設工事、誠之小学校改築に要する経費等を計上し、総額約26億円の予算を追加するものです。
- 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の一部を改正する条例

審議した案件

- ▽区長提出案件 16件(可決) 7件(可決) 8件(可決)
- ▽議員提出案件 4件(否決) 1件(決定) 17件
- ▽請願 17件

新型コロナウイルス感染症に係る区議会の対応

(令和2年3月24日現在)

区長及び教育長に対する要望

○「新型コロナウイルス感染症に係る区立小・中学校の臨時休校に関する要望書」(2月28日)

【要望内容】

- ・臨時休校の間、児童・生徒の感染リスクに十分配慮しつつ、居場所の確保について柔軟に対応すること。
- ・特別支援学級等の児童・生徒への支援策を講じること。
- ・臨時休校の間、学校及び児童・生徒の状況把握に努めること。

○「新型コロナウイルス感染症に係る区の対応に関する要望書」(3月24日)

【要望内容】

- ・国及び都から区が受けたマスクや消毒用アルコール等の衛生用品については関係部署が連携し、必要な施設に適切に届くよう対応すること。
- ・区内の特別養護老人ホームを始めとする社会福祉施設等において感染が発生した際は、施設の運営が適切に継続できるよう区も協力すること。
- ・区が事業者との間で締結した契約の解除や変更に伴う経費については、所管課と事業者との間で協議を行い、必要な支払いを適切に行うこと。
- ・収入減少があった世帯等の資金需要に対応するため各種支援制度の周知に努めること。
- ・区内における経済対策については、区独自の取組だけでなく国や都の制度の案内も含めた経営相談を行うなど、適切に対応していくこと。
- ・繁忙期を迎える戸籍関係業務については、待合フロアにおける密集状況の回避を行うとともに郵送による申請が可能な手続きがあることを積極的に周知すること。
- ・区立小・中学校の再開に当たっては、児童・生徒の感染リスクに最大限配慮すること。また、休校により生じた学習の遅れに対するフォローアップを行うこと。

感染リスクの軽減及び感染防止に向けた取組

- ・令和2年2月定例会の議会期間の変更
- ・本会議及び委員会等に出席する議員、区職員及び傍聴者に対するマスク着用の推奨・手洗いの徹底、アルコール消毒液使用の呼び掛け、委員会休憩時の委員会室の換気の実施等

最新の対応及び詳細については、右記のQRコードから区議会ホームページをご覧ください。



予算審査特別委員会報告(要旨)

令和2年度当初予算案を審議するため、2月12日の本会議で19人の委員をもって構成された予算審査特別委員会は、委員長に高山泰三委員(永久の会)、副委員長に田中香澄委員(公明党)を選出し、3月10日から17日まで審査を行い、一般会計を始めとする4予算案をいずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

○総括質疑

問 2年度予算の特徴は。
答 歳出は、児童の保育委託の増等による扶助費が9.1%の増、誠之小学校改築等の学校施設の整備等による8.4%の増等により、総額で約90億円、8.8%の増となった。

歳入は、特別区税が4.3%増、財調交付金が12.2%増となった。これらにより、2年度当初予算は、過去最大の規模となった。推移としては、特別区税が納税義務者の増、所得水準の伸び等により増加し、歳出では扶助費が社会保障関係経費の増等で8年連続の増、投資的経費は7年連続で100億円を超える状況が続いている。

予算に対する各会派の態度(要旨)

自民党・無

予算に反映されていない新型コロナウイルス感染症対策に迅速な対応を図るよう、流用や補正予算を組み、区民の安心安全を確立すること。

原案は、だれもが生き生きと暮らし続けるまちの実現に向け、我が会派が提案した施策を反映した予算と評価する。

今後は、一億総活躍社会における男女平等社会の実現、地域包括ケアシステムの確立、区民防災組織活動助成の拡充、子育て支援助成の拡大、審議協議会委員の在り方、学校改修の最大活用、GIGAスクール構想の推進と環境整備など60項目に及ぶ提案を解決し、迅速に災害対策のまちづくりを推進することを要望する。

以上の意見を付し、自民党・無は4会計に賛成する。

日本共産党

消費税10%が暮らしを直撃し新型コロナウイルス感染症対応が必要で、区は景気回復との認識を改め、福祉増進へ672億円の基金活用し待機児童解消、特養・公営住宅増設と子どもの国保料全額助成、給食無償化、後期高齢者医療の非課税者窓口負担ゼロ実施を。シビック改修費用の説明を。条例無視した公衆便所解体方針と岩井臨海学校廃止は撤回を。マイナンバーは反対。一般、国保介護、後期高齢各会計に反対。

市民の広場

新型コロナウイルスの影響から区民生活を守るため、必要な施策と予算執行を行うこと。不透明な補助金の見直し、1歳児の保育所定員増、高齢者等の居住支援、障害者施設整備、文化事業の推進、水害対策、子どもの意見の区政への反映を求める。

一般会計、介護保険、国保会計は賛成し、後期高齢者医療会計は反対。

文京みらい

新型コロナウイルスのパンデミックを見据えた先行投資と中小企業支援、現場主義の政策立案、当事者参加型評価、家庭開放・避難所・職員住宅の拡充、液体ミルク備蓄・観光交通政策の見直し、給食費の無償化、無借金自治体への舵取りを求める。一般、介護、後期高齢各会計は賛成。国保会計は保険料軽減を求め反対。

創

「創」の要望実現を評価。さらに、新型コロナウイルス対策緊急資金の返済配慮。B1ぐる第4路線。水害時垂直避難協定。避難行動要支援者訓練。安心の8050問題支援。区立こども園での0歳児保育。一時駐輪場増設。小石川図書館と竹早公園再整備等の実行を望む。以上の意見を付し、4会計予算に賛成する。

永久の会

新年度予算は、新たな行政計画「文の京」総合戦略が策定され、その中には多様化する区民ニーズを的確に捉えた事業が随所に予算化される等、今後も更なる内部努力の徹底と、コロナ対策等区民福祉の向上に努められることを要望し、愛と勇気の結束を誇る文京永久の会は、令和2年度予算4会計に全て賛成致します。

令和2年2月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns for committee, proposal name, and voting results for various parties (Self, Communist, etc.). Includes sections for '区長提出議案' and '議員提出議案'.

代表質問(要旨)



市民の広場 浅田 保雄

東京2020大会は「平和の祭典」に

オリピック・パラリンピックを別々の事業とせず、近代オリピックの創始者クーベルタンが提唱したあるべき姿を目指して、平和の祭典と位置付けるべき、伺う。区長 組織委員会・都とともに、オリピック・パラリンピックを一体の事業として、スポーツ・文化・平和の祭典として取組を進めている。



子どもたちの大会観戦には区民の協力を求めています

児童・生徒の東京2020大会の観戦・移動には、学校支援本部、スポーツ推進委員、青少年委員、健全育成会等、区民に協力を求めるべき。教育長 引率については、教職員に加えて指導員等を適切に配置し、子どもたちの安全確保に十分配慮する。

障害のある育成室利用者の卒業後の居場所について

障害のある育成室利用者が中学生になったときに、放課後の居場所が確保されているのか。また、どのような生活を送っているかを把握して

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

聖火リレーと区民のレガシー

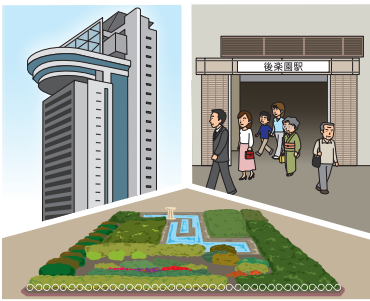
聖火リレーに区民はどのように関わり応援すればよいか。記念樹を植えるレガシーには子どもたちが東京大会の感想や未来への手紙をタイムカプセルに入れる案はどうか。大会記念のミニチュメント作製の公募型で、基金はクラウドファンディングを提案する。区長 区民の心に残る記念イベントにする。沿道警備や運営ボランティアを募集する。提案の記念樹等は検討する。



創 品田 かつり

後楽園駅とシビックを結ぶデッキを要望

シビックセンター建設の際に当初計画から除外された後楽園駅・礪川公園側とシビックを結ぶ「ペDESTリアンデッキ」計画の復活を強く要望。それにより横断歩道を渡らず大小ホールへのアクセスが格段に良くなり、誰もが迷わず入場できるが、いかがか。区長 区民の利便性向上の視点から実現可能性を研究する。



区民センターとシビックを地下通路でつなぐ

シビックから区民センターへの移動は春日町交差点を2回横断するので困難な方もおられる。都営三田線の協力を得て、バリアフリーで移動できる地下通路やエレベーターの設置を強く要望する。区長 バリアフリーの推進に向けて事業者等へ働き掛ける。

では、実際に火を使用する訓練は禁止されている。他区では火を使う訓練が行われており、本区でも本番を想定した火を使用する防災訓練が可能となるよう強く求めるが、いかがか。区長 公園では、火の使用を原則として禁止しているが、防災訓練におけるかまどベンチでの火の使用については、防災行動力の向上の観点から今後検討する。



山本 一仁

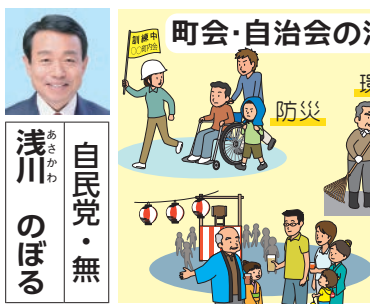
地下鉄出入口を整備して混雑解消を

地下鉄駅の出入口は、スペースが限られているため近くに商業ビルや大企業のビル等があると、特に通勤ラッシュ時などは人の流れが悪くなる。区内を調査して、該当する駅から建物に直結する地下道を整備することはできないか。駅の出入口周辺の混雑解消のために事業者が働き掛けてはどうか、伺う。区長 東京メトロでは根津・湯島・本駒込駅に隣接する土地・建物所有者や建て替え・開発等を検討している事業者等から、駅との接続を前提とした計画を募集している。駅周辺の情報提供を行うなど引き続き地下鉄事業者と連携し安全性と利便性向上に努める。

かまどベンチで火を使った防災訓練を実施すべき

公園等に設置されている防災用のかまどベンチについて

有などのサポート体制を継続し発展させていくことで、町会・自治会活動を活性化させ、未来へとつなげていくべきと考え、いかがか。区長 今後も引き続き、町会・自治会と区の双方の緊密な連携・協力の下、継続的に様々な地域の課題解決に取り組んでいく。



浅川 のぼる

旧元町小学校の整備等について

元町公園・旧元町小学校の保全・有効活用に当たり、プロポーザルの公募条件である歴史性の継承や防災性・公共性に配慮した施設の有効活用ほか、子育て支援や介護予防の取組等が図れるようになるのか、伺う。区長 今回の公募では多岐にわたる条件を求めているが、選定された事業者の提案はそれらを十分に踏まえた計画となっている。その実現を図り、利用しやすい施設となるよう事業者と協議を進めている。

「減災」と「自助」「共助」について

災害が起きる前から準備し、被害を最小限に食い止める「減災」については、住民一人一人が意識して対策を行うことにより、「自助」「共助」の礎ができていくものと考え、減災に対する見解と対策を伺う。区長 自然災害に対して一人一人が日頃から備える自助や地域や身近な人同士が助け合う共助は、減災において重要であると認識している。引き続き減災対策を着実に進め、災害に強いまちづくりの実現に取り組んでいく。

整をどう進めるのか、伺う。区長 事業者の企画提案内容の大幅な変更は難しいが、対象地域での住民説明会で地域の意見を伺い、具体的なバス停の位置等、可能な範囲で運行事業者と調整を図っていく。



日本共産党 国府田久美子

共同印刷の敷地開発に当たっての課題について

小石川四丁目の共同印刷の敷地開発に関して、借地権者が決定したが、区が要望している三者協議の場の設置、メンバー、協議事項、基本協定締結はどうか合意されたのか。また、避難所に使える施設整備についても求めるべき。区長 土地活用計画の策定段階から土地所有者、借地権者と本区による協議の場の設置を求めている。要望書に記載した施設以外の施設についても必要に応じて協議していく。

6千200万円である。弾力運用について国に見直しを求める考えはない。人件費率は指導検査等で確認していく。区長 生活困窮者自立支援事業で就労までの段階的支援を行うとともにアウトリーチを想定した相談支援を進める。今後とも個々の意欲や意向、生活状況等を考慮した支援計画を立て、支援を行っていく。



日本共産党 板倉 美千代

水害時の垂直避難とハザードマップの周知について

神田川周辺の住民の声を重視し、水害時の新たな対応とともに、ハザードマップの全戸配布と、浸水が予想される地域に浸透させるために説明会を開催すべき。区長 近隣の安全な場所の確保に向け、高層建物等の所有者と地域住民の受入れ等の協定締結に努める。各種ハザードマップの周知方法は整った時点で改めて考える。

小日向二丁目国有地の利用計画には区民要望の反映を

小日向二丁目の国有地利用については、既に建設が決まっている特別養護老人ホームのほか、保育所や緑の広場等の要望があるが、区の計画を固める前に区民要望を聴取する機会を作り、計画に反映させるよう求める、見解は。区長 地下埋設物の撤去工事並びに国有財産関東地方審議会への諮問等の状況を確認しながら、特別養護老人ホームとその他の施設の整備について具体的に検討する。施設整備に当たっては、地域住民等への丁寧な説明を行っていく。



私立保育所委託費の「弾力運用」について

私立保育所委託費を他自治体の新設園整備等に流用する、弾力運用の額は過去5年間のトータルでいくらになるのか。保育の質の低下につながりかねない弾力運用をやめ、人件費率を委託費の50%以上とするよう求める。区長 過去5年間の委託費の弾力運用の合計額は約7億

こもり総合対策事業と連携し、実態に即した具体的な内容のきめ細かい伴走型の支援体制を構築していただきたい、いかがか。区長 生活困窮者自立支援事業で就労までの段階的支援を行うとともにアウトリーチを想定した相談支援を進める。今後とも個々の意欲や意向、生活状況等を考慮した支援計画を立て、支援を行っていく。

養育費不払いへの対応を

養育費不払いの実態把握をするとともに、課題解決につながる制度設計が必要と考える見解を伺う。区長 都の補助制度の実施状況や国の法整備の検討状況を注視しながら、支援方法について検討していく。



認知症対策について

認知症の方やその家族が安心して暮らせる環境整備のため、民間の保険を活用した自治体による支援事業が広がっており、重要な取組と見られる。区長 保険制度については、一部の自治体で開始されているが、国の動向や他自治体の実施状況を注視し研究していく。認知症検診については、実施に向け検討していく。



委員会活動

●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

常任委員会

2月定例会議の議会期間のほか、1月27日に総務区民委員会と文教委員会をそれぞれ開催しました。

総務区民

1月27日 報告事項2件
3月4日・5日 報告事項7件
報告に対する主な意見等
●令和2年度組織改正においてICT戦略担当が設置される。今後よりスピード感をもって、ICT、AI等の新たな技術を活用し、業務効率化、業務改善、新たな行政サービスの創出につなげ、区民サービスの更なる充実を図ること。

厚生

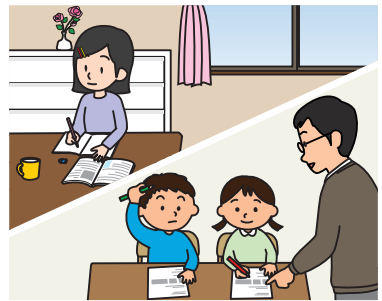
2月28日 報告事項10件
3月19日 報告事項1件
報告に対する主な意見等
●認知症の早い時期から適切な支援につなげることを目的に、「認知症とともにパートナー事業」と「認知症とともにフォローアッププログラム」が実施される。認知症の初期段階では、医療機関の受診や介護保険サービスの利用にすぐには至らず、本人や家族が不安を抱え込む傾向にあるため、両事業を広く周知すること、早期発見や進行予防につなげていくこと。

建設

3月3日 報告事項10件
報告に対する主な意見等
●文京区都市マスタープランについては、社会情勢の変化や、都が策定した都市づくりの新たな方針・各種計画等を踏まえ、見直しの必要性を検討することとなった。区内全域で実態調査・意識調査等が行われることとなるが、地域や年齢層等に偏りが無い形で幅広く意見を聴取できるように丁寧に進めていくこと。

文教

1月27日 報告事項1件
3月2日 報告事項7件
3月19日 報告に対する主な意見等
●新型コロナウイルス感染症に関連して、感染リスク拡大防止の観点から、小・中学校の休校措置等の緊急対応が行われた。休校期間が長期にわたることから、必要に応じて児童・生徒とのコミュニケーションを図るとともに、家庭学習を行った部分は新年度の授業で取り扱う等のフォローをす



●小学校等の老朽校舎の改築に当たっては、地域の特性に応じた学校づくりに向けて設置される、改築基本構想検討委員会において、地域の方々とともに丁寧な話し合いを進めていくこと。また、検討の際には、公園等の近隣施設を含めた校地の有効活用や保・幼・小・中の連携など、様々な観点からの議論を行うこと。

災害対策調査

1月31日 報告事項4件
2月25日 報告事項4件
(1)委員会視察
●神田川、善福寺川等の洪水貯留システムに関する調査・研究のため、神田川・環状七号線地下調節池(善福寺川取水施設)を視察した。

議会運営委員会

1月31日、2月12日・26日、3月9日・19日に開催しました。主な協議事項については、次の通りです。

主な協議事項

- 令和2年度予算案について
・2月定例会議会追加提案事項について

特別委員会

自治制度・地域振興調査

2月21日 報告事項2件
(1)研究会の開催
「自治体を取り組む Society 5.0, Society 5.0時代の地域社会とは」をテーマに、総務省地域力創造

グループ地域政策課理事官の中山貴洋氏、同省情報流通行政局地域通信振興課長補佐の齋藤洋一郎氏を講師に迎え、研究会を開催した。

今後の方針や他自治体の状況、行政事務の効率化等について講義を受け、活発な質疑を行った。

には、地域における要配慮者への連絡体制の構築が必要となる。区としては、要支援者名簿を活用した取組事例について周知するなど、地域における連絡体制が構築されるよう支援を行うこと。

子ども・子育て支援調査

2月20日 報告事項6件
報告に対する主な意見等
●区内には、子どもたちが安心して遊べる場所が不足している。遊具等が無い広場のような場所が十分だが、遊び場となるスペースの確保については、子ども家庭部が単独で進めるには限界があるため、全庁横断的に取り組むこと。

委員会視察

●東京都子供家庭総合センター内に設置されている東京都児童相談センターを視察した。同センター内の各施設の見学のほか、児童虐待の現状や児童相談所を取り巻く状況、職員の体制や採用・育成などについて、調査研究を行った。

令和元年度 委員会視察

委員会視察報告書は、作成次第、ホームページに掲載します。

厚生委員会 (令和2年1月16日・1月17日)

○兵庫県たつの市

「ふくし総合相談窓口の取組に関する調査・研究」

兵庫県たつの市▶

○兵庫県明石市

「ひきこもり相談支援課の取組に関する調査・研究」

兵庫県明石市▶

○岡山県総社市

「ひきこもり支援センターの取組に関する調査・研究」



文教委員会 (令和2年1月27日)

○東京都荒川区

「区立小中学校におけるICT教育の推進導入状況に関する調査・研究」

「学校図書館支援事業(学校図書館への司書配置)に関する調査・研究」

「図書館施設のあり方に関する調査・研究」



▲第三日暮里小学校



▲ゆいの森あらかわ